

学年	高校2年	教科	国語
コース	本科/インターナショナル	科目	古典B
時間数	3時間/週		

重視したいコンピテンシー

① 探求心	ワクワクする心を持ち、物事の本質を知ろうとし、それを追求するための学びに前向きな姿勢を持っていること
② 異文化理解	物事を多様な視点で捉えようとする姿勢をもち、多様性を尊重し、「違い」を楽しむこと
③ 問題解決能力	創造的思考・批判的思考を持って、問題発見・問題解決のサイクルを実行できること

3	①ジャンルの特徴をとらえ、作品のテーマについて説明できる ②出来事を整理し、場面の展開を相手にわかりやすく説明できる	①関連のある作品を比較し、問題点を提起することができる ②作品に対する解釈を議論するなかで、根拠の妥当性を指摘しながら、現代語訳を再検討することができる	①伝統的な感性や思考を相対化し、新しい価値文化を創造できる ②時空を超えた他者との対話を通して、自己の内面世界を深められる
2	①文法をいかした適切な現代語訳 ②古語・諺・慣用語・故事成語・秀歌を知り、作品理解の助けにする ③和文・漢文・混交文の調べや格調を体験的に味わう	①複数の資料から作品を解釈する ②作品を比較しながら関連性を整理することができる	①作品や古人の思想をふまえ、現代社会に生きる自分を再定義できる ③他者との共生のなかで、日本の文化を形づくる普遍的な思想や感性に気づき、現代社会に投影できる
1	① 歴史的仮名遣いや古語の理解 ②基本となる文法・句法の理解 ③正確な品詞分解や書き下し	①古人のものの見方・感じ方を知り、日本文化のルーツを理解する ②時代ごとの世相と作品との影響関係を理解する	①日本文化のなかでも時代ごとに変化する文化の違いを理解する ②自国の文化をふまえ、異文化への理解を深める
	A 知識・技能	B 応用・実践	C 批判・創造

学期	月	単元	単元目標	主な活動
1	4	助動詞「らむ・けむ・めり・まし」	●推量・婉曲・願望の助動詞の理解	◎文章を用いて推量・婉曲・願望の助動詞を習得
	5	格助詞・接続助詞	●付属語の特徴、格助詞・接続助詞の理解	◎文章を用いて格助詞・接続助詞を習得
	6	副助詞・敬語の種類	●副助詞の役割、敬語の種類理解	◎文章を用いて副助詞、敬語の種類を習得
	7	二方面への敬意・敬意の方向	●敬語の応用的知識の理解	◎文章を用いて敬語の応用的知識を習得
2	9	和歌の修辞①②	●掛詞・序詞・縁語を理解する	◎歌物語の文章を用いて掛詞・序詞・縁語の習得
	10	否定①、使役①	●単純否定、二重否定、使役の句法を理解する	◎文章を用いて否定と使役の句法の習得
	11	否定②、疑問・反語	●部分否定、疑問・反語を理解する	◎文章を用いて否定、疑問・反語を習得する
	12	比較・比況、仮定、限定・詠嘆	●各種の重要助字を理解する	◎文章を用いて各種の重要助字を習得する
3	1	漢詩の鑑賞	●詩の形式の理解、テーマの把握	◎詩を鑑賞して、テーマについて考察・討論する
	2	複数の古文を読み比べる	●複数の古文を読み、共通点と相違点を理解する	◎複数の古文の、主に相違点について考察・討論する
	3	複数の漢文を読み比べる	●複数の漢文を読み、共通点と相違点を理解する	◎複数の漢文の、主に共通点について考察・討論する